

IJCAD

ライセンス管理プログラム

セットアップマニュアル



目次

1. インストールの前に

- 1-1. ソフトウェアの構成と動作環境----- 1
- 1-2. 注意事項----- 2

2. セットアップの流れ

- 2-1. 新規セットアップ ----- 3
- 2-2. バージョンアップ時のセットアップ ----- 4

3. セットアップの準備

- 3-1. プログラムのダウンロード ----- 5

4. ライセンス管理サービス(サーバー)のセットアップ

- 4-1. ライセンス管理サービスのインストール ----- 6
- 4-2. ライセンス管理サービスの初期設定 ----- 8

5. ライセンス管理ツール(クライアント)のセットアップ

- 5-1. ライセンス管理ツールのインストール----- 10
- 5-2. ライセンス管理ツールの基本オプション設定 ----- 13

6. プログラムのアンインストール

- 6-1. ライセンス管理ツール（クライアント）のアンインストール----- 15
- 6-2. ライセンス管理サービス（サーバー）のアンインストール----- 17

改訂履歴

2024.02.01 ライセンス管理プログラムセットアップマニュアル 初版発行

1. インストールの前に

製品ソフトウェアをインストールする前に以下の内容を必ずご確認ください。

1-1. ソフトウェアの構成と動作環境

本システムは、IJCAD ネットワークライセンス利用者向けのライセンス管理ソフトウェアです。以下の2種類のプログラムで構成されています。

① ライセンス管理サービス (IJLM_SERVICE.EXE)

ネットワークライセンスサーバー (FLEXlm) から出力されるログを定期的に読み込み、データベースに収集するサービスプログラムです。

ネットワークライセンスマネージャーをインストールしているサーバーにインストールを行ってください。

対応 OS : Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022
(FLEXlm の出力したログファイルを読み取れる環境)

R A M : OS の動作環境に従います

H D D : 30 MB 以上のハードディスク容量が必要

② ライセンス管理ツール (IJLM_TOOL.EXE)

ライセンス管理サービスプログラムにて収集されたデータを元にライセンスの統計情報のレポートを表示・印刷するクライアントプログラムです。
ライセンス使用数が設定数を超えた時に通知メールを送信することもできます。
複数のクライアントのパソコンで、ご利用が可能です。

対応 OS : Windows 10、Windows 11

R A M : OS の動作環境に従います

H D D : 30 MB 以上のハードディスク容量が必要

1-2. 注意事項

- 本製品はネットワークライセンスサーバー（FLEXlm）のログ情報を解析・利用するツールであるため、ご利用の際にはネットワークライセンスマネージャーのセットアップが完了し、稼働している必要があります。
- インストール時及び実行時は「**管理者（システムアドミニストレーター）**」の**権限が必要**です。
- サーバー側では使用するポートを開放しておく必要があります。
（初期値のポートは『TCP:3060』です。）
- 冗長型での利用は保証しておりません。
- 最新のライセンス管理ツールより、ライセンス情報ファイル [ProductCode.txt] による製品コード登録処理は必要がなくなりました。

2. セットアップの流れ

ネットワークライセンスプログラムをご利用いただくには、サーバーとクライアントPCのそれぞれでセットアップを行う必要があります。

2-1. 新規セットアップ

新規でライセンス管理プログラムをご利用いただく場合は、以下の手順にてセットアップを行ってください。

《セットアップの準備》

- ① WEB ページにてプログラムをダウンロードする
⇒ 『[3-1. プログラムのダウンロード](#)』

《サーバーでのセットアップ》

- ② [ライセンス管理サービス] をインストールする
⇒ 『[4-1. ライセンス管理サービスのインストール](#)』
- ③ [ライセンス管理サービス] の初期設定を行う
⇒ 『[4-2. ライセンス管理サービスの初期設定](#)』

《クライアント PC でのセットアップ》

- ④ [ライセンス管理ツール] をインストールする
⇒ 『[5-1. ライセンス管理ツールのインストール](#)』
- ⑤ [ライセンス管理ツール] の基本オプション設定を行う
⇒ 『[5-2. ライセンス管理ツールの基本オプション設定](#)』

2-2. バージョンアップ時のセットアップ

ライセンス管理プログラムのバージョンアップを行う場合は、以下の手順にてセットアップを行ってください。

«旧バージョンのアンインストール»

- ① クライアント PC で [ライセンス管理ツール] をアンインストールする
⇒ 『[6-1. ライセンス管理ツール（クライアント）のアンインストール](#)』
- ② サーバーで [ライセンス管理サービス] をアンインストールする
⇒ 『[6-2. ライセンス管理サービス（サーバー）のアンインストール](#)』

«セットアップの準備»

- ③ WEB ページにてプログラムをダウンロードする
⇒ 『[3-1. プログラムのダウンロード](#)』

«サーバーでのセットアップ»

- ④ [ライセンス管理サービス] をインストールする
⇒ 『[4-1. ライセンス管理サービスのインストール](#)』
- ⑤ [ライセンス管理サービス] の初期設定を行う
⇒ 『[4-2. ライセンス管理サービスの初期設定](#)』

«クライアント PC でのセットアップ»

- ⑥ [ライセンス管理ツール] をインストールする
⇒ 『[5-1. ライセンス管理ツールのインストール](#)』
- ⑦ [ライセンス管理ツール] の基本オプション設定を行う
⇒ 『[5-2. ライセンス管理ツールの基本オプション設定](#)』

3. セットアップの準備

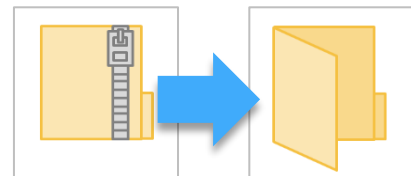
3-1. プログラムのダウンロード

① WEB サイトでファイルをダウンロード

弊社よりお送りしたご案内のメールに記載されている専用 URL より、ダウンロードページにアクセスして、インストール用のファイルをダウンロードしてください。

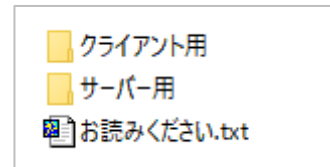
② ZIP ファイルを解凍

ダウンロードされたファイルは、圧縮状態の ZIP 形式のファイルです。必ず解凍を行ってください。



③ セットアップ

解凍したフォルダの中には、[サーバー用] と [クライアント用] のインストールパッケージが用意されています。



それぞれのセットアップ方法に従って、インストールを進めてください。

- サーバー [『4-1. ライセンス管理サービスのインストール』](#) へ
- クライアント [『5-1. ライセンス管理ツールのインストール』](#) へ

4. ライセンス管理サービス(サーバー)のセットアップ

ライセンス管理サービスは、**ネットワークライセンスマネージャーのインストールされているサーバーにインストール**してください。

4-1. ライセンス管理サービスのインストール

インストーラより、ライセンス管理サービスをインストールします。

① インストーラの起動

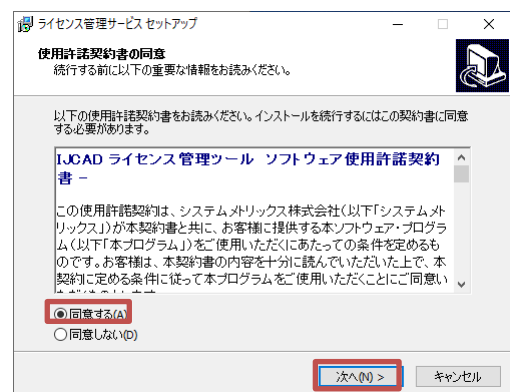
『3-1. プログラムのダウンロード』にてダウンロード・解凍を行ったファイルを開きます。

[サーバー用] フォルダの中の [ijlmsv_setup.exe] をダブルクリックで実行します。



② 使用許諾契約の確認

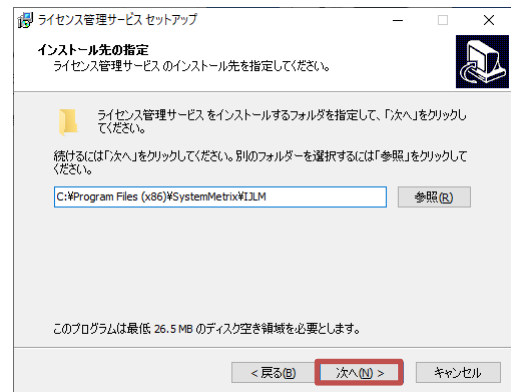
ソフトウェア使用許諾契約書をご確認の上、ご同意いただける場合は『同意する』にチェックをつけて、[次へ] をクリックしてください。



③ インストール先の選択

【参照】より、インストール先のフォルダを選択します。

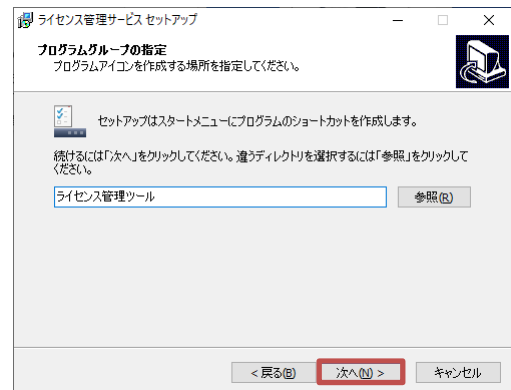
特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま【次へ】をクリックしてください。



④ プログラムグループの指定

スタートメニューに表示するプログラムのショートカット名を指定します。

特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま【次へ】をクリックしてください。

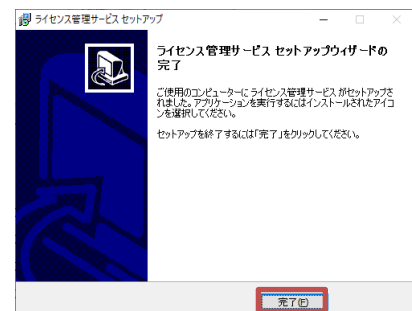
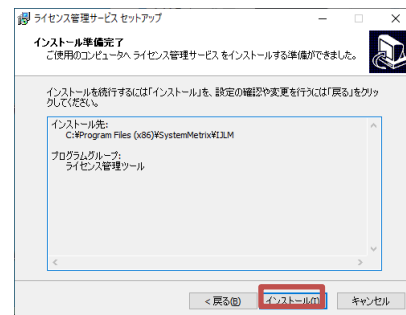


⑤ インストール

【インストール】をクリックすると、インストールが開始されます。しばらくお待ちください。

インストール途中で、初期設定のダイアログが表示されますので、『[4-2. ライセンス管理サービスの初期設定](#)』を参照して設定を行ってください。

初期設定が終わりましたら、インストールの完了です。




4-2. ライセンス管理サービスの初期設定

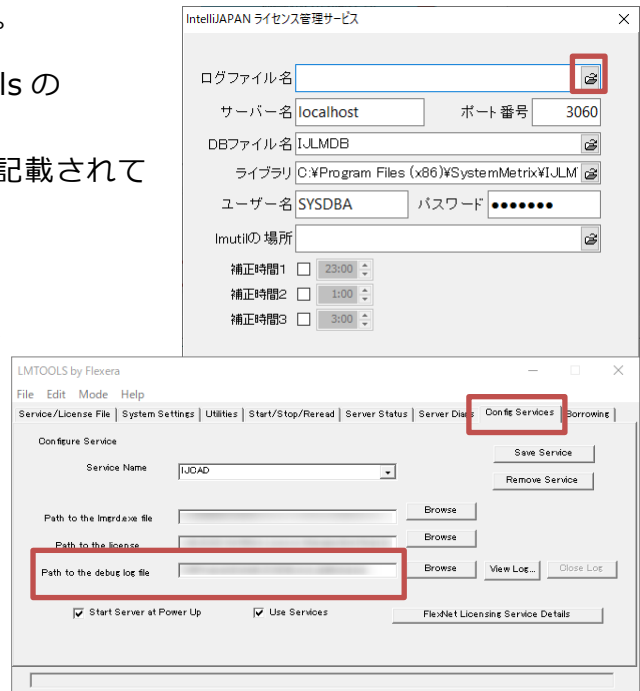
インストール完了後、初期設定のダイアログが開きます。
サーバーの状況に応じて、各項目の設定を行ってください。

① ログファイルの場所を指定

ログファイルのパスを入力します。

ログファイルの出力先は、LMTools の
[Config Services] タブ>
[Path to the debug log file] に記載されて
います。

 のボタンをクリックし、
上記のパスにある [liclog.log] を
選択してください。




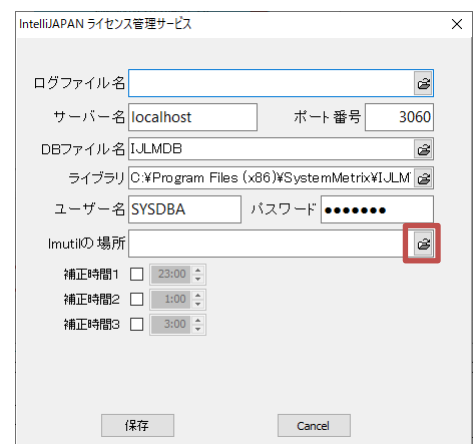
② Imutil の場所を設定

ネットワークライセンスマネージャーの
ファイル内にある [Imutil.exe] の
フルパス名を定義します。

デフォルトのパス

C:\¥IJCAD NetWork License Manager
¥Imutil.exe

 のボタンをクリックし、ネットワーク
ライセンスマネージャーのフォルダから
[Imutil.exe] を選択してください。



※ ログファイルのみでライセンス使用状況の解析を行うと、ライセンスの返却が
行われずに IJCAD がダウンした場合などに、ライセンスの数が実際の使用数と
異なって認識されてしまうことがあります。

[Imutil] の設定を行うことで、そのライセンス数のズレを補正することが
可能です。

③ 補正時間（時刻）の設定

手順②で設定した [Imutil.exe] にてライセンス数の補正を行う時刻を設定します。補正時刻は 3 つまで設定が可能です。

例えば、補正時間 1 に [23:00] に設定すると、毎日 23:00 のタイミングでライセンス数のずれを正すことができます。

- ※ 補正時刻の設定を行っていない場合、補正を行うことができません。
- ※ 補正時刻には既定で時刻が記入されていますが、任意の値に変更することもできます。ライセンスの動きが少ない時刻に設定することをおすすめいたします。

④ その他の設定について

その他の項目に関しては、デフォルトで値が入力されています。データベース関連の項目については、基本、デフォルトの値のまま変更せずに保存してください。

各項目の詳細は以下のとおりです。

- **サーバー名** : データベースのあるサーバー名
- **ポート番号** : データベースのポート番号
- **DB ファイル名** : データベースのファイル名
- **ライブラリ** : データベースのライブラリパス
- **ユーザー名** : データベースのユーザー名
- **パスワード** : データベースのパスワード（初期値 : ijlmdba）

⑤ 設定完了

[保存] ボタンをクリックし、設定を保存してください。データベースとの接続確認を行い、正常に接続されれば、Windows サービスとして登録されます。データベースとの接続が確認できない場合は、同じダイアログが表示されるので [保存] ボタンを押して、再度接続確認を行ってください。

以上で、ライセンス管理サービスの初期設定は完了です。

5. ライセンス管理ツール(クライアント)のセットアップ

ライセンス管理ツールは、複数のクライアントのパソコンにてご利用いただくことが可能です。

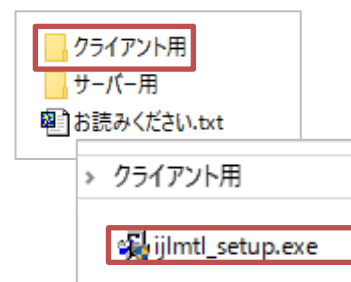
ライセンスサーバーと同じパソコン、またはローカルのパソコンにインストールを行ってください。

5-1. ライセンス管理ツールのインストール

① インストーラの起動

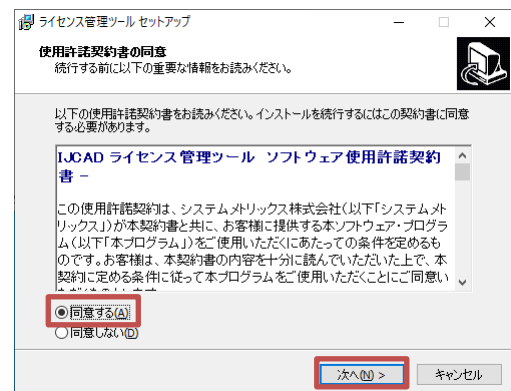
『3-1. プログラムのダウンロード』にてダウンロード・解凍を行ったファイルを開きます。

[クライアント用] フォルダの中の
[ijlmtl_setup.exe] をダブルクリックで実行します。



② 使用許諾契約の確認

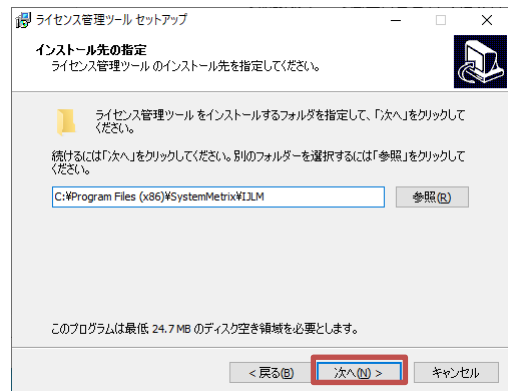
ソフトウェア使用許諾契約書をご確認の上、ご同意いただける場合は『同意する』にチェックをつけて[次へ]をクリックしてください。



③ インストール先の選択

〔参照〕より、インストール先のフォルダを選択します。

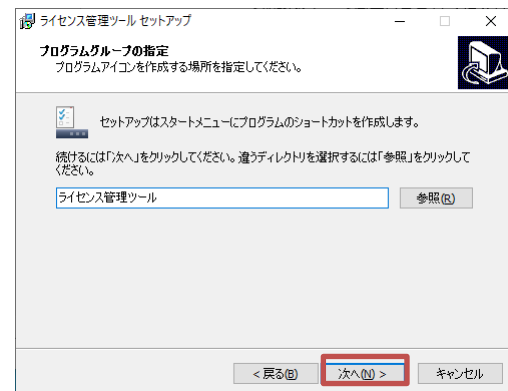
特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま〔次へ〕をクリックしてください。



④ プログラムグループの指定

スタートメニューに表示するプログラムのショートカット名を指定します。

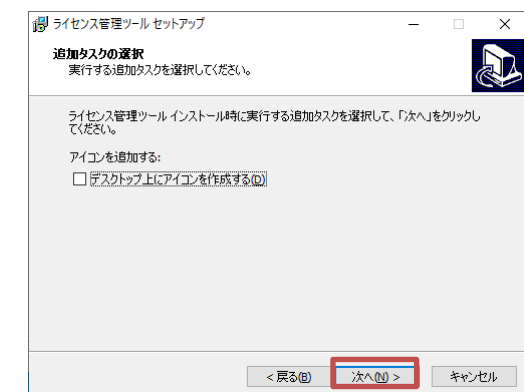
特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま〔次へ〕をクリックしてください。



⑤ デスクトップアイコンの作成

デスクトップ上にアイコンを作成するかどうかを指定します。

特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま〔次へ〕をクリックしてください。



⑥ インストール

インストールが開始されます。
しばらくお待ちください。
完了のメッセージが表示されたら
[完了] をクリックしてください。
インストールの完了です。



5-2. ライセンス管理ツールの基本オプション設定

ライセンス管理ツールを使用するためのオプション設定を行います。

① ライセンス管理ツールの起動

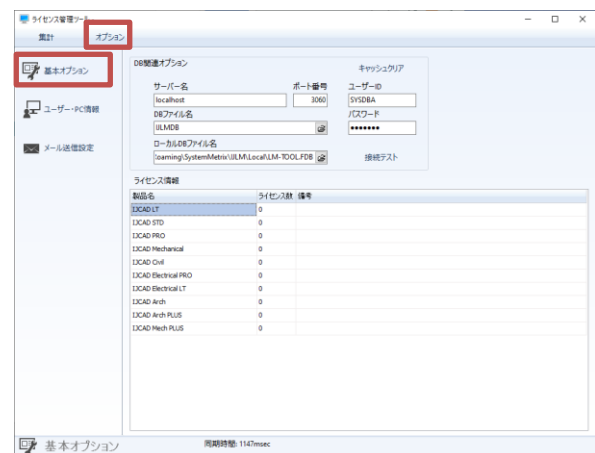
デスクトップのアイコンよりライセンス管理ツールを起動します。



② 設定画面

ライセンス管理ツールを起動すると右のダイアログが開きます。

他の画面が表示されている場合は
[オプション] タブの
[基本オプション] を選択します。



③ データベース関連オプションの設定

以下を参考に、[DB 関連オプション] を設定します。

- **[サーバー名]**
ライセンス管理サービス(サーバー用)をインストールしたサーバーのIPアドレスを入力します。
- **[ポート番号] [DB ファイル名] [ユーザーID] [パスワード]**
通常、**デフォルトで設定**します。
ライセンス管理サービスでデフォルト以外の値を設定していた場合のみ合わせて変更してください。
- **[ローカル DB ファイル名]**
特に必要なければ**デフォルトで設定**します。

④ 接続確認

接続テストボタンをクリックします。
問題が無ければ、『xxx に接続しました』と『ローカル DB に接続しました』というメッセージボックスが表示されます。

正常に接続できない場合は設定を確認し、正しい値を入力してください。

⑤ ライセンス数の設定

製品ごとに保持しているライセンスの数を設定してください。
直接ライセンス数の欄をクリックして数値を編集します。

※ この値が実際のライセンス数と異なっていると、正しい集計ができません。

※ 各製品のライセンス数は、使用中を含む総数を入力してください。

ライセンス情報		
製品名	ライセンス数	備考
IJCAD LT	0	
IJCAD STD	0	
IJCAD PRO	0	

以上で、ライセンス管理ツールの基本設定は完了です。

6. プログラムのアンインストール

バージョンの変更や、OS の入れ替えなどで、ライセンス管理プログラムのアンインストールを行う場合は、以下の手順をご参照ください。

6-1. ライセンス管理ツール（クライアント）のアンインストール

① アンインストール用プログラムの起動

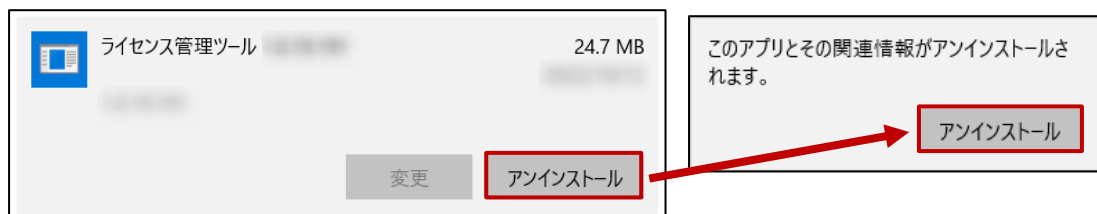
[アプリと機能]または[コントロールパネル]から、アンインストール用のプログラムを起動します。

[アプリと機能]から起動

スタートメニューを右クリックして[アプリと機能]をクリックした後、以下の手順にてアンインストールのメニューを開きます。

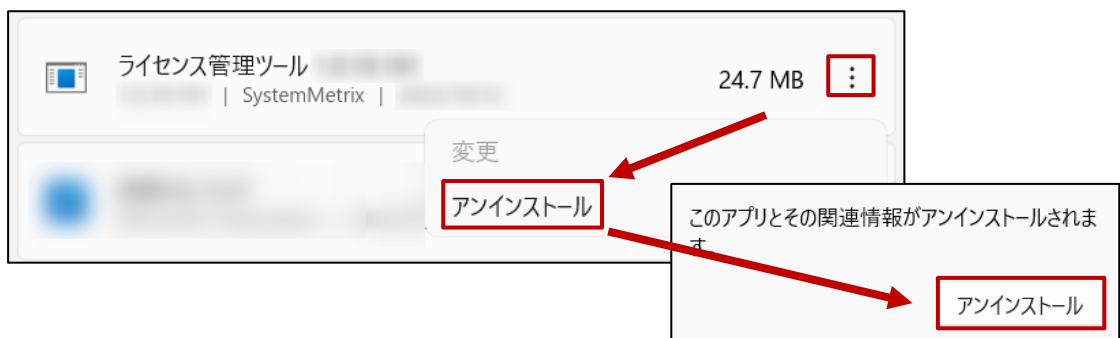
▼Windows10 の場合

アプリの一覧より [ライセンス管理ツール] を選択して、表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。



▼Windows11 の場合

アプリの一覧より [ライセンス管理ツール] を表示し、右にある「⋮」をクリックして表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。

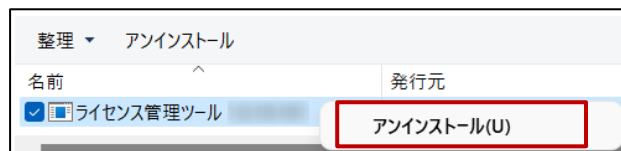


[コントロールパネル]から起動

コントロールパネルを開き、[プログラムのアンインストール] を選択します。

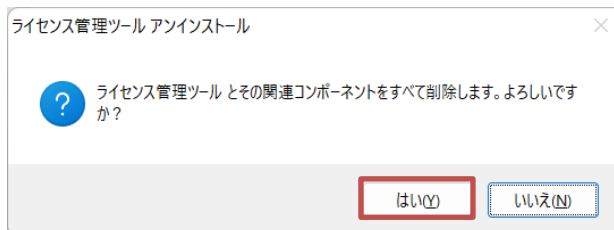


リストより [ライセンス管理ツール] を選択した状態でマウスを右クリックし、表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。



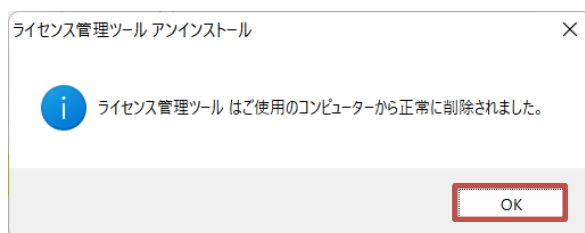
② アンインストール

アンインストール用のプログラムが起動したら、[はい] をクリックします。アンインストールが開始されます。



③ アンインストール完了

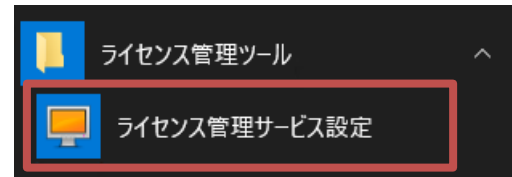
以下のメッセージが表示されるとアンインストール完了です。[OK] をクリックしてプログラムを終了してください。



6-2. ライセンス管理サービス（サーバー）のアンインストール

① サーバー設定の起動

Windows のスタートメニューより
 [ライセンス管理ツール] の
 [ライセンス管理サービス設定] を
 選択します。



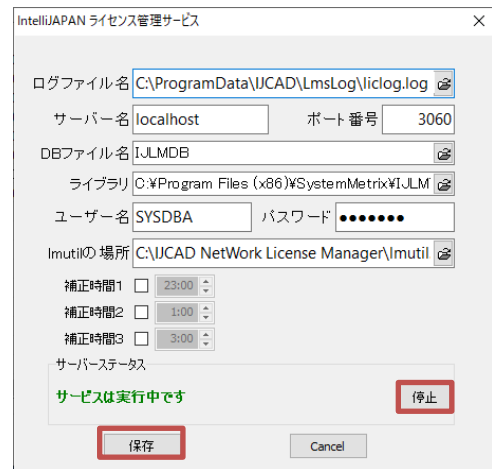
② サービスの停止

サーバーステータスに、「サービスは
 実行中です」と表示されていることを
 確認してください。

[停止] ボタンをクリックします。

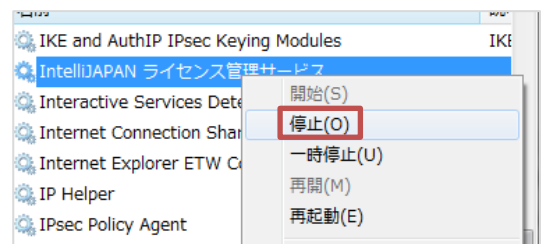
サービスが停止します。
 サーバーステータスは、「サービスは
 停止しています」に変更されます。

[保存] ボタンをクリックして
 ダイアログを閉じてください。



旧バージョンのライセンス管理ツールでは、サーバー設定からのサービスの停止に対応していません。下記の操作で停止を行ってください。

1. コントロールパネルを開きます。
2. 右上の [カテゴリ▼] をクリックして [小さいアイコン] に変更します。
3. 表示されたリストの中から [管理ツール] を選択します。
4. [サービス] を選択します。
5. サービスの一覧の中から [IntelliJapan ライセンス管理サービス] を選択し、右クリックで表示されるメニューから **開始** / **停止** を操作してください。



③ アンインストール用プログラムの起動

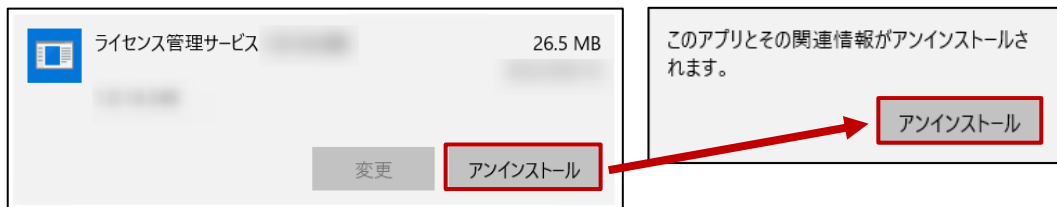
[アプリと機能]または[コントロールパネル]から、アンインストール用のプログラムを起動します。

[アプリと機能]から起動

スタートメニューを右クリックして[アプリと機能]をクリックした後、以下の手順にてアンインストールのメニューを開きます。

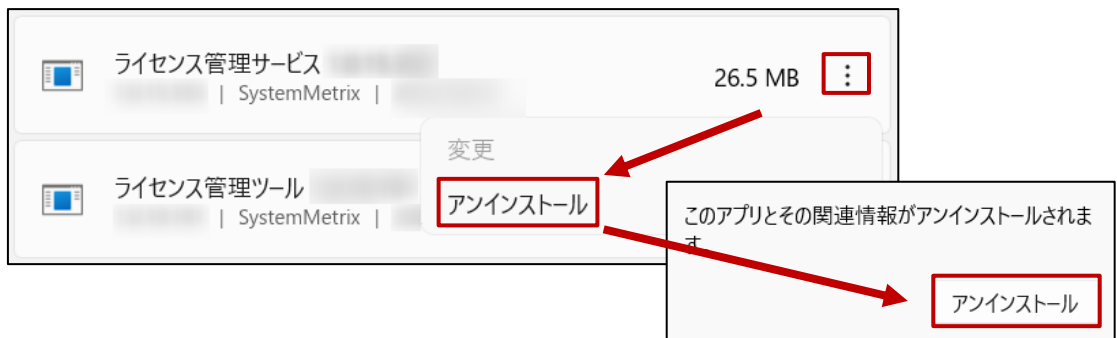
▼Windows10 の場合

アプリの一覧より [ライセンス管理サービス] を選択して、表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。



▼Windows11 の場合

アプリの一覧より [ライセンス管理サービス] を表示し、右にある「⋮」をクリックして表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。

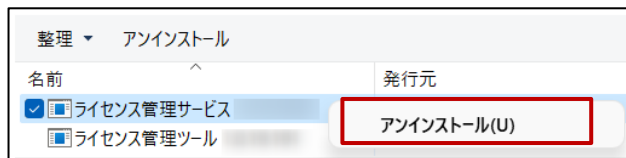


[コントロールパネル]から起動

コントロールパネルを開き、[プログラムのアンインストール] を選択します。

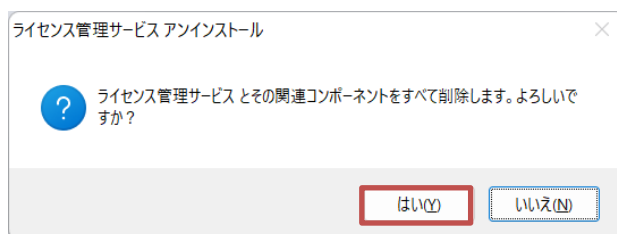


リストより [ライセンス管理サービス] を選択した状態でマウスを右クリックし、表示されるメニューから [アンインストール] をクリックしてください。



④ アンインストール

アンインストール用のプログラムが起動したら、[次へ] をクリックします。アンインストールが開始されます。



⑤ アンインストール完了

アンインストールが完了すると完了のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じてください。

